

基本目標3 子どもが心身ともに健やかに学び育つまちづくり

子どもが、社会や生活環境の変化に柔軟に対応して個性豊かに主体的に生きる力を身に付けるとともに、生命を尊ぶ心を育むことの重要性を認識し、次代の親へと成長していくことが期待されます。

子どもが自らを大切に、社会性を身に付けるように支援したり、家庭、保育所、幼稚園、学校など地域全体で、様々な学習の機会を通して豊かな人間性を培うため、教育環境の整備を推進します。

主要施策3-1 次代の親の育成

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算(見込)額
3-1-1	学習情報の収集と提供 (重複掲載3-3-13)	子どもや保護者等の多様な学習ニーズに対応するため、幅広い学習情報の収集と提供を行います。 ■生涯学習情報誌「鎌倉萌」を発行 ★毎月8,000部 年間96,000部 ■神奈川県生涯学習情報システム「PLANETかながわ」への生涯学習情報提示	事業の継続	教育総務課 3,940千円
3-1-2	性(命)の尊重、男女平等についての啓発 (実)	男女が正しく性を理解・尊重しあうこと、お互いが協力して家庭生活・社会生活を築く男女共同参画についての啓発を行います。 ■男女共同参画推進講座 ★2回 ■フォーラム ★1回 ■イベント ★1回 ■セミナー ★2回 ■情報誌発行 ★2回	事業の継続	文化人権推進課 545千円
3-1-3	小学生と保育園児・幼稚園児の交流 (重複掲載3-2-9)	生活科の授業、総合的な学習の時間や小学校の行事等(運動会、各学校で行われる子どもまつり等)を通して、小学生と保育園児や幼稚園児の交流を推進します。 また、就学を控えた園児と同じ地域の小学校低学年の児童が、一緒に活動し交流を行います。 ★各小学校に幼保小交流事業担当者をおき、小学校区単位で交流事業の推進に努めました。 ★各園にて就学前の訪問、運動会の競技への参加等交流を実施。	市立小学校全校での交流実施を継続	教育センター 教育指導課 保育課
3-1-4	中学生と保育園児・幼稚園児の交流 (重複掲載3-2-10)	市立中学校の生徒が、保育所や幼稚園で総合的な学習の時間で「職場体験学習」や技術・家庭科の家庭分野の学習の中で「保育体験」を行います。 ★市立中学校全校で職場体験学習や技術・家庭科、総合的な学習の時間等の学習の中で取り組みました。	市立中学校全校での実施を継続	教育指導課 保育課
3-1-5	道徳教育での啓発	主として他の人とかかわりに関する事の中で、「男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する」ことについて、教科書や机上の学習だけでなく、体験を通して学ぶことに努めます。 ★道徳教育はすべての教育活動を通じて行いました。 道徳の時間はすべての学校で年間35時間(小学1年生のみ34時間)行いました。	事業の継続	教育指導課
3-1-6	特別活動での啓発	学級活動の中で、「男女相互の理解と協力」について、教科書や机上の学習だけでなく、体験を通して学ぶことに努めます。 ★学級活動は毎日の朝の会や帰りの会、年間35時間(小学1年生のみ34時間)の学級活動の時間、放課後活動の中で行いました。	事業の継続	教育指導課

主要施策 3-2 学校の教育環境の充実

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算(見込)額
3-2-1	環境教育の推進	<p>環境と人間とのかかわりを学び、恵み豊かな環境やいのちを大切にすることを育む環境教育の充実に努めます。</p> <p>■環境教育アドバイザー等の派遣実績 ★38件 ■環境教育アドバイザー等の派遣人数 ★246名 ■地球温暖化対策普及啓発映画会の開催 ★1回 216人参加 ■夏休み子ども向け自然観察会の開催 ★1回 29人参加 ■エコサイエンスショーの実施 ★1回 230人参加 ■LEDの工作教室の開催 鎌倉商工会議所、三菱電機照明㈱の協力を得て開催しました。★1回 36人参加</p>	事業の継続	環境政策課
3-2-2	学校評議員制度	<p>各学校が保護者や地域の方々の意見を広く聴き、地域に開かれた、また信頼される学校づくりを推進します。</p> <p>★設置率 100% (H20 : 100% H21 : 100% H22 : 100% H23 : 100%)</p>	設置率の維持	教育指導課
3-2-3	世代間交流	<p>小中学校では、総合的な学習の時間等で、地域の保育所、幼稚園、障害者施設、老人ホーム等へ訪問し交流を深めます。また、地域のお年寄りを学校に講師として招いて知識、経験を子どもたちに伝えていきます。</p> <p>保育所では近隣の小学校、障害児者施設や老人ホームなどを訪問し、交流を深めます。また、地域のお年寄りを招いての交流を図ります。 ★市立小中学校で実施しました。 保育所では近隣の小学校、障害児者施設や老人ホームなどを訪問し、交流を深めました。また、地域のお年寄りを招いての交流を図りました。 ★保育園において、地域の中学・高校から総合的な学習や職場体験で1~3日受け入れました。また、小学校を訪問するなど交流を深めました。グループホームや地域のお年寄りや遊びや行事による交流を図りました。 ★公立3園(深沢、大船、岡本)にておおぞら園との交流を実施。材木座は老健ぬかだ、稲瀬川はきしろホームとの交流を、また深沢は地域のお年寄り、岡本は老人会と交流を実施しました。 ★小学校は3-1-3と重複</p>	事業の継続	教育指導課 保育課
3-2-4	教育相談事業の充実 (実)	<p>教育センター相談室において、幼児から青少年の相談並びにいじめ・不登校等の教育相談を行います。不登校児童・生徒のために、教育支援教室等を設置し、自立に向けた支援を行います。</p> <p>■教育センター相談室 ★新規相談人数 292人 ■教育支援教室 「ひだまり」 ★通室児童生徒数 8人 ■個別教育支援(相談室) ★相談件数 213件 ■心のふれあい相談員の配置 ★2-3-1参照 ■スクールソーシャルワーカー(市・県)、スクールソーシャルワーカー・サポーター(県)の派遣 ★2-3-1参照</p>	事業の継続	教育センター

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算(見込)額
3-2-5	幼児教育に関する研究研修	<p>幼児教育に理解を深め、幼稚園・保育園と小学校との間で円滑な接続を図る観点に立って、相互理解と連携を深めるよう、その研究・研修活動支援の一層の充実を図ります。</p> <p>■幼児教育研究会 ★幼稚園・保育園・小学校の職員で研究会を構成し、テーマをもって実践的な研究に取り組み、研究の成果を「幼児教育」にまとめました。</p> <p>■幼児教育研修会 ★1回 35人参加</p> <p>■幼児教育研究協議会 ★幼稚園・保育園・小学校の職員が集まり、協議会を開催1回 195人参加</p> <p>■幼保小連携研修会 ★幼稚園・保育園の各1園と小学校の1校の3か所で公開授業を行いました。3回 80人参加</p> <p>■幼保小交流事業 ★市立小学校に幼保小交流事業担当者をおき、小学校区単位で交流事業の推進に努めました。</p>	幼児教育研究会・幼児教育研修会の継続	教育センター 141千円
3-2-6	心の教育の推進・道徳教育の充実	<p>生命を大切にし、他人を思いやる心、美しいものや自然に感動する心を育てる教育を推進するため、道徳教育の充実をめざす。また、道徳教育資料集の続編を編纂するために資料収集を行います。</p> <p>★資料集（「続かまくらのはなし」）の作成に向け、資料収集を行いました。</p>	事業の継続 道徳教育資料集 vol.2編纂	教育センター
3-2-7	国際社会への対応	<p>外国人英語講師（ALT）を小学校にも派遣することにより、国際理解教育の充実を図ります。</p> <p>■5人の外国人英語講師（ALT）を、小学校5～6年生のクラスへ派遣し、授業を通して国際理解教育の充実を図りました。 ★年間176日 1クラスあたり平均7～8時間</p>	事業の継続	教育指導課 15,915千円
3-2-8	情報化社会への対応	<p>各教室でインターネット等が利用できるよう、校内LANの整備を進めるとともに、ITを活用した施策の充実をめざす。</p> <p>■小・中学校教員を対象にしたコンピュータ研修 ★3回 77人参加</p> <p>■コンピュータ授業活用研修会 ★2回 26人参加</p> <p>★小学校校内LAN設置済</p>	事業の継続	教育指導課 教育センター 8千円
3-2-9	小学生と保育園児・幼稚園児の交流 (重複掲載3-1-3)	<p>生活科の授業、総合的な学習の時間や小学校の行事等（運動会、各学校で行われる子どもまつり等）を通して、小学生と保育園児や幼稚園児の交流を推進します。 また、就学を控えた園児と同じ地域の小学1年生が、一緒に活動し交流を行います。</p> <p>★3-1-3参照</p>	市立小学校全校での実施を継続	教育センター 教育指導課 保育課
3-2-10	中学生と保育園児・幼稚園児の交流 (重複掲載3-1-4)	<p>市立中学校の生徒が、保育所や幼稚園で総合的な学習の時間で「職場体験学習」や技術・家庭科の家庭分野の学習の中で「保育体験」を行います。</p> <p>★3-1-4参照</p>	市立中学校前項での実施を継続	教育指導課 保育課

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算(見込)額
3-2-11	各種育成行事	<p>子どもの健康維持・増進を図るため、各種の大会や教室を開催します。また、子どもたちの文化・芸術活動を活性化するため、活動成果を発表する場の提供に努めます。</p> <p> ■小学校陸上記録大会 ★市内国立・市立小学校6年生 ■小学校音楽会 ★市内国立・市立小学校17校 ■鎌倉駅地下道ギャラリー50展示 ★市内国立・市立小・中学校15校 ■小学校児童作品展 ★市内国立・市立小学校17校、入場者 総数5,393人 ■中学校音楽会 ★市内国立・市立中学校10校 ■中学校生徒美術展 ★市内国立・市立中学校10校 ■中学校演劇発表会 ★市内1校 ■中学校総合体育大会 ★市内市立中学校9校、国立1校、私 立6校 ■中学校連合文化祭 ★市内市立中学校9校 国立1校 </p>	事業の継続	教育指導課
3-2-12	安全で快適な学校 教育環境の整備 (実)	<p>学校施設整備計画「改訂版」の内容に沿った事業を推進します。</p> <p> ■公共下水道接続工事 ★岩瀬中学校 ■管理諸室空調設備工事 ★小学校7校(七里小・大船小・第二小・小坂小・御成小・植 木小・関谷小) ★中学校3校(第一中・御成中・手広中) ■特別支援学級教室改修工事 ★西鎌倉小学校 ★第二中 ■トイレ改修工事 ★稲村ガ崎小学校 </p>	事業の継続 (管理諸室空調 設備工事につい ては、平成24年 度で終了)	学校施設課 125,916千円
3-2-13	体験学習の推進	<p>福祉や環境問題などについて、実際の体験を通じて学習するため、総合的な学習の時間等を使って、校外活動等を実施します。</p> <p>★市立小・中学校全校で取り組みました。</p>	市立小中学校全 校での実施を継 続	教育指導課
3-2-14	かまくら子ども議 会の開催	<p>子どもたちが、市議会の模擬体験を通じて、市民生活と行政との関わりや、鎌倉市が直面するさまざまな課題について考えるとともに、自らの言葉で市長等と質疑応答を行うことにより、議会制民主主義への理解を深めながら地方自治の仕組みについて学習することを目的として開催します。</p> <p>★24年度は中学校対象に実施し、市内国立・市立中学校10校から各2人、計20人が参加しました。</p>	小中学校隔年で の実施を継続	教育指導課



事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算(見込)額
3-2-15	個に応じた指導の 充実	<p>少人数指導やティーム・ティーチングなどを実施し、児童生徒一人ひとりの興味・関心、習熟の程度等に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。</p> <p>★指導法改善(少人数指導やティーム・ティーチング)をテーマとして、校内研修・実践教育を進めています。</p> <p>■少人数学級編制の導入</p> <p>★小学校2年生で35人学級を編制するために、県の定数配当の教諭が学級担任となり、市費非常勤講師をその後任として補充しました。</p>	事業の継続	教育指導課
3-2-16	読書活動の推進	<p>朝のホームルームの時間等を活用して読書活動に取り組みます。また、「図書館専門員」「読書活動推進員」を小・中学校へ派遣するなど、児童生徒の読書に親しむ環境づくりを進めます。</p> <p>■読書活動推進員を市立中学校全校(9校)へ派遣</p> <p>★各校月4日、5名派遣しました。</p> <p>■学校図書館専門員を市立小学校全校(16校)へ派遣</p> <p>★各校月12日、16人派遣しました。</p>	事業の継続	教育指導課
3-2-17	各種補助員介助員の 派遣	<p>水泳、運動部活動、日本語指導等専門性の高い分野や、特別支援学級・通常級に在籍する児童生徒の介助など、児童生徒の教育活動が円滑に進められるための各種補助員・介助員を派遣します。</p> <p>★水泳補助指導員 9人 (H20:9人 H21:9人 H22:9人 H23:7人)</p> <p>★日本語指導等協力員 4校5人 (H21:7校7人 H22:5校7人 H23:2校4人)</p> <p>★学級支援員 23校90人 (H20:16校27人 H21:16校27人 H22:21校46人 H23:23校70人)</p> <p>★特別支援学級への学級介助員等 9校21人 (H20:7校17人 H21:7校17人 H22:7校17人 H23:7校18人)</p> <p>★通常級への学級介助員 4校5人 (H20:4校4人 H21:3校3人 H22:3校5人 H23:5校6人)</p> <p>★運動部活動補助指導員 3校3人 (H20:3校3人 H21:3校3人 H22:3校3人 H23:3校3人)</p> <p>★スクールアシスタント 9校9人 (H20:5校5人 H21:8校8人 H22:8校8人 H23:8校8人)</p>	事業の拡充	教育指導課 44,864千円
3-2-18	ごみの発生抑制及び減量化、資源化啓発	<p>市内保育所、幼稚園や小中学校の児童生徒を対象にごみの発生抑制及び減量化、資源化のための啓発を行い、児童生徒はもとより、父母、家族までその意識を広める事業を行います。</p> <p>■環境教育</p> <p>★中学生への環境教育 2校 122人</p> <p>★小学生への環境教育 11校 1,055人</p> <p>★保育園児への環境教育 3園 190人</p> <p>★幼稚園児への環境教育 4園 692人</p>	事業の継続	資源循環課

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算(見込)額
3-2-19	幼児教育の振興	<p>幼児教育の振興並びに充実のため、幼児教育についての情報提供を進め、幼児期の成長の様子や大人の関わり方について保護者や地域住民等の理解を深める事業を行います。</p> <p>★23園中全園で実施</p>	事業の継続	私立幼稚園
3-2-20	里山体験学習	<p>小中学校の総合的な学習として受け入れ、年間通して農作業、谷戸保全作業、自然観察を指導します。また、単発的な谷戸保全作業体験をグループ・クラス・学年単位などで受け入れます。</p> <p>■深沢小学校2年「谷戸となかよし」 ★4回149人 ■深沢小学校5年生「谷戸田の米づくり」 ★全9回130人 ■御成中学校1年「谷戸保全活動」 ★1回127人 ■教育支援教室 「ひだまり」「昔ながらの畑、二毛作」 ★10回7人 ■富士塚小学校4年生「地元の昔の暮らし、昔の遊びを知る」 ★2回45人</p>	事業の継続	NPO法人山崎・谷戸の会
3-2-21	幼稚園教諭の資質の向上	<p>幼児教育の資質向上のため、園内研修のみならず、定期的に行う園外教員研修に加え、免許更新制度導入に伴い、公的に認められた免許更新講習会を受講します。</p> <p>★23園中全園で実施</p>	事業の継続	私立幼稚園
3-2-22	高校生のための国際理解事業(H22新規)	<p>市内在住、在学の高校生を対象に、国際NGOなど現場の活動家などを招き、国際協力の意義、実情などを理解する事業。</p> <p>★年1回 14人参加(うち高校生2人) ※平成24年度は、対象を高校生に限定せずに「災害時に外国人が直面する課題と支援のあり方」をテーマに開催。</p>	事業の継続	秘書広報課 20,000円
3-2-23	景観セミナー等の開催(H22新規)	<p>将来の鎌倉のまちづくり、景観づくりの担い手となる子どもたちに対して、体験学習や講習会等を実施し、鎌倉らしい景観形成の普及啓発に取り組みます。</p> <p>■親子景観セミナー 「宅間ヶ谷と旧華頂宮邸探検」 ★18組計37名の親子が参加 ■景観出前講座 ★市内公立小学校教職員向けに1回実施</p>	事業の継続	都市景観課
3-2-24	ようこそ先達事業(H23新規)	<p>文化、芸術など多くの人材に恵まれた本市の特性を活かし、文化人や芸術家に協力を仰ぎ小中学生に講演や演奏等とおして感動を届ける事業。</p> <p>★詩人と詩を作る授業(小坂小学校) ★室内管弦楽団による演奏(第二中学校)</p>	事業の継続	文化人権推進課 100千円



主要施策3-3 家庭や地域の子育て力の向上

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算(見込)額
3-3-1	ブックスタート事業の推進 (実)	6か月児育児教室において、絵本の入ったブックスタートパックを贈呈し、絵本の読み聞かせの仕方などのアドバイスを行います。 ■ブックスタート ★48回 6ヶ月児926人 保護者等1,061人参加 ★パック受取率 94%(H23 98%)	受取率の向上	中央図書館 1,286千円
3-3-2	子育て支援センターの充実 (重複掲載 1-3-2・4-3-2)	子育て家庭に対してアドバイザーが子育ての情報提供や、育児相談に応じます。フリースペースの子育てひろばも設置します。 ★1-3-2・4-3-2参照	未実施地域での整備を検討 [20年度3地域に設置]	こども相談課
3-3-3	生涯学習施設の提供	学校学習施設の一般開放を行います。 ★提供している施設 学校開放学習施設 4校 (小学校3校 中学校1校 利用者数33,195人)	事業の継続	教育総務課 5,417千円
3-3-4	育児教室	親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身に付けられるよう、専門の講師による講座等を開催します。また、育児経験に乏しい親たちの、育児への不安や悩みを解消するため、子育て教室・講座の開設に努めます。 ■6か月児育児教室 ★48回 保護者数926人(うち父21人) ■1歳児歯科育児教室 ★24回 保護者数842人(うち父23人) ■親子講座 ★8回98組延199人(うち父3人) ■親子セミナー ★8回 保護者数168人(うち父2人) ■ふたご・みつごのための親子講座 ★3回 保護者等数42人(うち父13人)	事業の継続	市民健康課
3-3-5	両親学級	妊娠及び出産後の母体の保護・日常生活の注意・育児の楽しさを一緒に学習します。 ■両親教室 12コース ★36回 396人(うち父154人)、延885人(うち父225人)	3日間コース12回の実施を継続	市民健康課
3-3-6	地域での子どもの参画活動	各種団体等の活動を通して、子ども同士や子どもと地域の人々の交流が図られるよう、各種の活動に対し積極的な支援に努めます。また、新たなニーズへの対応、出張講座の検討をします。 ■出張講座を実施 ★子ども会館へ出張 玉縄7回 鎌倉17回	事業の継続	青少年課
3-3-7	子どものスポーツの育成	子どものスポーツを通じた体力の向上と仲間づくりのため、関係団体等の支援を図ります。企業や関連団体と連携をとることにより子供のスポーツ参加のきっかけづくりの場を広げ、あらゆるスポーツを体験できる環境づくりを推進します。	事業の検討中	スポーツ課 58千円

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算(見込)額
3-3-8	子ども会館・子どもの家における健全育成	地域社会の中で、児童の遊び場の拠点として、異年齢集団での遊びや仲間づくりのための居場所づくりに努めます。 ★1-3-1参照	一日あたり平均来館者数10%アップ	青少年課
3-3-9	学校開放の推進	子どもの地域活動の場として、校庭、体育館等、学校体育施設の開放を進めていきます。 ★市内公立小中学校全校で実施(25校)	市内公立小中学校全校での実施を継続	スポーツ課 16,387千円
3-3-10	青少年指導者の活動支援	子どもの地域活動を支える青少年指導者の活動を支援します。 ★鎌倉市青少年指導員の活動支援、研修会等の補助をしました。	事業の継続	青少年課 23千円
3-3-11	小学生リーダー・ジュニアリーダーの育成	集団活動や野外活動における基本的な知識と技術を身に付け、地域における青少年活動のリーダーとなれる人材を育成します。 ■子どもキャンプ ★小学生64人参加 子どもキャンプで、活動班、就寝班のリーダーとして活躍しました。	事業の継続	青少年課 500千円
3-3-12	若者たちが育ち合う場の創設(重複掲載4-3-4)	若者たちが気軽に相談でき、育ち合い、自主運営を目指せる場づくりを進めます。 ★子ども・若者育成プラン推進協議会の中で「青少年の居場所づくり」について、ワークショップを開き検討を進めました。	検討	青少年課 こどもみらい課
3-3-13	学習情報の収集と提供(重複掲載3-1-1)	子どもや保護者等の多様な学習ニーズに対応するため、幅広い学習情報の収集と提供を行います。 ★3-1-1参照	事業の継続	教育総務課 3,940千円
3-3-14	各種育成事業	子どもたちの心豊かな育成に向けて、地域社会全体が協働して取り組む活動を支えます。 ■子ども写生大会 ★1回271人 ■演奏会 ★2回831人 ■おはなし会 ★63回486人 ■おひぎにだっこのおはなしかい ★69回871人 ■あかちゃんと楽しむおはなしかい ★41回543人 ■一日図書館員 ★14回92人 ■材木座海岸子ども教室“砂浜でかけっこ”(3-1-1と重複) ★8回68人 ■山野でかけっこ ★8回66人 ■子ども会への支援 ★運営費補助72団体 ■青少年会館事業 ★延べ669回 9,858人	子ども会・育成団体への支援、おはなし会、おひぎにだっこのおはなしかい、一日図書館員、学童保育・子育てサークルへの訪問サービス、基礎体力づくり教室の継続	青少年課 中央図書館 スポーツ課 教育総務課 子ども写生大会 36千円 演奏会351千円
3-3-15	総合型地域スポーツクラブの育成	地域で多種目、多世代、多様な技能レベルに応じたスポーツを楽しむことのできるクラブの支援を図ります。 ★設立団体1	設立済み団体と、創設希望団体に相談等の支援を行う	スポーツ課

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算(見込)額
3-3-16	保育所の地域子育て支援	全公立保育所にて園庭開放、行事参加や子育て相談など地域の子育てを支援する活動を進めます。 ■「広場にて」にて園庭遊び、人形劇、親子体育遊び(スポーツ課事業)等を実施 ★公立 7園(全園) 月1~2回 (H21、H22 公立園全園で実施) ★子ども会館 年4回(7月~11月) H22年2回(9月、11月) H23年4回(6月、9月、11月、1月)	支援内容の充実	保育課
3-3-17	放課後子ども教室 (重複掲載4-3-5)	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を利用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともにスポーツ活動・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施します。 ■稲村ヶ崎小学校で実施 ★8教室 平日42日 土曜日23日 参加者数 延1,155人	事業の継続	教育総務課 1,039千円
3-3-18	放課後子どもプラン (重複掲載4-3-6)	「放課後児童健全育成事業」と「放課後子ども教室推進事業」を連携して行うもので、すべての子どもを対象として、放課後の安全で健やかな居場所づくりをめざします。 ■稲村ヶ崎小学校で実施 ★8教室 平日42日 土曜日23日 参加者数 延1,155人	事業の継続	教育総務課 1,039千円 青少年課
3-3-19	スポーツ活動の促進	子どもたちに様々なスポーツを紹介し体験することにより、自分にあった運動を見つけられるよう生涯スポーツの推進を図ります。 また、スポーツ活動を通して体力向上に役立て健やかに成長することを目的に、子どもの体力調査を実施します。 自分の体力がわかる体力測定の実施、自分にあった運動を見つけるために様々なスポーツ体験ができる環境づくりを進めます。 ■子どもの体力測定 ★1回98人 ■武道体験教室武道で元気なからだづくり ★1回93人 (3-3-7と重複) ■幼児・小学生子ども体操教室 ★年少・年中教室2教室17人 ★年中・小学生低学年教室2 教室13人 ■チャレンジ・スポーツ ★3回17人 ■巡回教室 楽しくスイミング ★7回 96人 ■派遣教室親子体育遊び(大船保育園、材木座保育園) ★2 回120人 ■マリンスポーツの体験教室 (ヨット・ウィンドサーフィン等) ★2回 44人 ■山野でかけっこ ★8回 66人	体力テストや体験教室の継続	スポーツ課 292千円
3-3-20	多世代交流地域共同拠点の創設 (重複掲載4-3-7)	地域資源の活用等により一般家庭の開放も含め、多世代が交流しあえる地域の拠点づくりを支援します。 ★地域の拠点づくりについて、市社協との協働事業による地域福祉支援室が地域住民が主体となったサロン活動の情報収集を行うなど、調査研究を進めました。また、身近で交流できる「つどいの場」づくりを推進するため、「空き家、空き店舗等情報登録制度」を設けています。	事業の検討	福祉総務課 こども みらい課
3-3-21	「市長への手紙(子ども版)」「わたしの提案(子ども版)」に名称変更)の設置	子どもの夢や希望を市政に生かすことを目的に、「市長への手紙(子ども版)」「わたしの提案(子ども版)」に名称変更)を全市立小中学校、全子ども会館・子どもの家及び青少年会館に設置します。 ★投書件数 9件	事業の継続	市民相談課 こども みらい課 教育指導課 青少年課

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算(見込)額
3-3-22	青少年健全育成活動	<p>青少年の健全育成のため、各地域で青少年団体への活動支援や文化・レクリエーション活動を実施します。 地域活動の推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■作文コンクール ★50人 ■講演会 コミュニケーション再考「現代の若者とどう付き合うか」★50人 ■野外炊事・バルーンアート ★37人 ■救命・救急法 ★37人 ■広報活動ギャラリー50・青少年指導員だより・おもちゃ箱活動をパネルにし、展示 ■子どもキャンプ(県立足柄ふれあいの村1泊)※委託事業★104人 ■子どもたこあげ大会(山崎浄化センター)★134名 ■各地区ふれあい広場 ■各地域のお祭りに参加 ■デイキャンプ ★49人 ■そうめん流し ★100人 ■ホテルを見に行こう ★100人 ■魚料理教室 (子どもたちと一緒に腰越の魚を使って料理を作る) ★30人 ■ソバ打ち教室(腰越地区) ★30人 ■チャレンジ広場「体育館であそぼう」 ★100人 ■まち歩き ★20人 	事業の継続	鎌倉市青少年指導員連絡協議会
3-3-23	家庭と地域の教育力活性化セミナー	<p>家庭と地域の教育力をより高めるために、様々なテーマ(青少年の心理、生命の大切さ、食育、安全・安心等)で講演会や講習会を開催します。</p> <p>★ 1回開催</p>	事業の継続 地域との連携を推進	鎌倉市PTA連絡協議会



事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算(見込)額
3-3-24	鎌倉てらこや事業	<p>地域の子どもたちが主体的に生き、活動できる拠点をつくり、成熟した地域社会を創造します。 子どもたちの魂を輝かせるために、自然、歴史、伝統、文化、宗教的な環境の下で、遊び、学び合い、感動体験を培います。 親たちは、子どもとともに学び、自らを育み、自立したよき大人に生まれ変わることを目指します。</p> <p>★土と遊ぼう(陶芸事業) 年10回174人 ★田んぼ(稲作事業) 年8回164人 ★宿泊体験合宿(合宿事業) 年2回216人 ★朗読事業 年8回250人 ★博報『世界こども日本語ネットワーク推進』助成事業 年1回50人 ★小学校の総合学習への参画 年11回230人</p>	事業内容の拡充	NPO法人鎌倉てらこや
3-3-26	青少年のボランティア体験学習活動	<p>青少年の福祉に対する理解と福祉意識の向上のために、高校生・大学生を対象に福祉施設の体験を実施しています。体験で学ぶ「福祉の心」「ボランティア精神」を培います。</p> <p>★平成24年7月30日～8月6日 延べ20名</p>	事業の休止	鎌倉市社会福祉協議会
3-3-27	助成事業	<p>児童の健全育成のために、小学生を対象としたスポーツ団体に助成金を交付しています。</p> <p>★年1回鎌倉市サッカー協会、鎌倉野球協会児童部に助成</p>	事業の廃止	鎌倉市社会福祉協議会
3-3-28	てらハウス事業	<p>商業ビルの空き店舗に、子ども・保護者・学生ボランティア・地域ボランティアが集い、“本気”で学び、遊び、語り合う居場所をつくります。そのようにして過ごす時間から子ども自身が「やりたい」と思うことを発見し、スタッフの力添えを得ながら自らの力で実現することを目指します。</p> <p>★65回実施 739人参加 (H21年度新規 32回 457人参加 H22年度 38回 521人参加 H23年度 54回 321人参加)</p>	事業内容の拡充	NPO法人鎌倉てらこや
3-3-29	子どもお泊り里山体験	<p>昔ながらの農作業、自炊など里山体験をします。谷戸の収穫物を味わい、山崎地区の昔の暮らしの話を聞きながら里山の暮らしを体験します。</p> <p>★1回(1泊2日)</p>	事業の継続	公益財団法人鎌倉市公園協会とNPO法人山崎・谷戸の会の共催



事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算(見込)額
3-3-30	競技スポーツ活性化のための啓発 (H23新規)	<p>オリンピックや世界大会で活躍しているトップアスリートの演技を観戦したり、指導を受けることで、何事にも目標を持ってチャレンジしていく気持ち育みます。 また、ジュニア期から競技スポーツの向上を図り鎌倉から未来のオリンピック選手を目指します。</p> <p>■徳洲会体操クラブの選手による公開練習及び交流会 ★1回145人</p>	事業の継続	スポーツ課 50千円



一日冒険遊び場



主要施策3-4 子どもを取り巻く有害環境対策の推進

事業名		事業内容	方向性	実施主体 決算(見込)額
3-4-1	青少年健全育成に関する啓発	青少年健全育成に向け、各団体・生徒などによる街頭キャンペーンを年2回実施します。 ★2回実施 91団体517人参加	事業の継続	青少年課
3-4-2	街頭指導活動の推進	街頭指導活動等による青少年の問題行動の早期発見と未然防止に努めます。 ★11回 88名	事業の継続	青少年課
3-4-3	社会環境実態調査	カラオケボックス、インターネットカフェ・まんが喫茶・書店の社会環境実態調査を行います。結果を神奈川県で集約し、関係業界団体に改善を要請します。また、店舗等への指導を検討します。 ★社会環境実態調査 1回(有害図書類区分陳列等調査は24年度は県の指定により「古書店」に対して実施。)	事業の継続	青少年課
3-4-4	学校と警察の連携の強化 (重複掲載4-2-4)	各学校と警察の連携により、学校・警察連絡協議会を設置し、不審者・変質者等の情報の連絡体制を整え、児童・生徒・学生の健全育成に努め、子どもを犯罪等の被害から守ります。 ★不審者情報提供件数 33件 ■鎌倉署管内学警連 役員会 協議会 ★1回 ★2回 ■大船署管内学警連 役員会 協議会 ★1回 ★2回 ■鎌倉市学警連全体協議会 ★1回	事業の継続	教育指導課

